



共産党主催ホタテシンポジウム (150人参加)



一般質問

日本共産党青森県議会議員
安藤はるみの
新・アジサイだより

安藤はるみの活動日誌

- 9月3日(水) 戦争反対アピール行動 ※写真B面
4日(木) 日本女性財団青森市連携協定特別記念講演会
5日(金) 民医連で医療状況調査
7日(日) 日本共産党県女性後援会総会
8日(月)～10日(水) 経済・交通・観光委員会県内調査
(東青・下北・道南) ※写真B面
11日(木) 奥入瀬渓流災害現場調査 ※写真B面
13日(土) ホタテシンポ ※写真
14日(日) 地元町会敬老会
16日(月) 経済・交通・観光委員会 ※写真B面
17日(水) 第323回定例県議会開会
19日(金) 健生労組定期大会挨拶、三大小学校訪問
安保法制廃止を求める19日行動 ※写真
21日(日) レッツウオークお山参詣出発式 ※写真
23日(火) 戦争反対!9条守れ市民集会挨拶
24日(水)～26日(金)、29日 一般質問(安藤25日行方 ※写真)
28日(日) 自衛隊市中パレード抗議アピール行動 ※写真
30日(火) 松緑調査 ※写真B面
10月1日(水) 質疑(吉俣)
2日(木) 経済・交通・観光委員会
3日(金) 戦争反対アピール行動
5日(日) 町会草刈、核燃だまっちゃおられん津軽の会市民講座
6日(月) 議会閉会



自衛隊市中パレード
(米兵が先頭に!)

SIDE-A



20数名で抗議行動

無理だらか
クマと人との共存は
(はるみのワクワク川柳)

(排他主義)

ほっとタイム
(お茶)

9月議会は安藤が日本共産党を代表して一般質問しました。質問に入る前に戦後80年を迎えたことに関し所感を述べました。日本の侵略戦争によって、アジア・太平洋地域で200万人以上の命が奪われ、侵略戦争の拡大と長期化によって、沖縄の凄惨な地上戦、広島長崎への原爆投下、各地の空襲など、日本国民の310万人の命が奪われたことを忘れず、日本国憲法に刻まれた「再び戦争の惨禍を繰り返さない」という不戦の誓いを新たに、今進められている憲法違反の大軍拡と「戦争国家づくり」を止めるために全力を尽くす決意を述べました。後にある会派の若手議員が控室にやって来て「安藤さんが戦争の話をした時に自民党のK議員がもつとやればいいんだと叫んでいた。ひどい」と伝えてくれました。日本共産党と対比した自民党の姿が顕著となりました。

今回13項目の問題について取り上げましたが、最初の質問で参議院選挙で、外国人差別を主張した勢力が躍進する結果となったことを受け「外国人との共生に向けた取組について」を質しました。私は、選挙期間中から様々な運動団体や専門化が事実を提示し、外国人との共生のために立ち上がったことや、7月24日に青森県で開催された全国知事会で宮下知事が読み上げた全国知事会議青森宣言で「排他主義、排外主義を否定し、多文化共生社会を目指す我々47人の知事がこの場に集い、対話の中で日本の未来を拓くに相応しい舞台となった・・・民主政治を脅かす不確かで根拠のない情報から国民を守り、国民が正しい情報に基づいて政治に参画できるシステムの構築を求めていく」と宣言したことは大きな希望になったと訴えました。答弁に立った観光交流推進部長は「青森県多文化共生推進プランに基づき、市町村や関係機関と連携しながら引き続き外国人住民の生活やコミュニケーション、社会参画などを支援する」と答えました。

再質問で私は、宮下知事に対し全国知事会の宣言についての思いを質すと「排他主義、排外主義というものは必ず、自分自身に返ってくるものだと思う。このことについて例えとして争いよりも対話により一年以上の長い間、平和で協調的な社会を築いた縄文時代の青森の血を表現したことは宣言に青森らしさが表現されている」と答弁しました。私はこの答弁に感銘し「同感します」と返しました。響き合うやりとりになりました。

発行：安藤はるみ

事務所 弘前市宮川2丁目3-2 電話0172-35-7021
9:00～14:00(土・日・祝日左記時間以外は留守電対応)

自宅0172-35-2270

Eメール ando-harumi@theia.ocn.ne.jp ホームページアドレス http://ando-harumi.com/

X(旧)Twitter 安藤はるみ 日本共産党 で検索 フォロワー885人

9月の相談件数2件
ホームページアクセス数 9月140,833件

日本共産党青森県議会議員
安藤はるみの
新・アジサイだより



委員会で質問

9月16日
経済・交通・観光委員会で質問

大雨による奥入瀬溪流歩道の被害状況について

佐藤宏観光政策課長「8月19日からの大雨に伴う溪流の増水により、下流側から上流側の子ノ口までの約11^{キロ}の区間で土砂の堆積が43箇所、倒木や流木が15箇所などの被害があり、被害が大きかった上流側の雲井の滝から子ノ口までの約6^{キロ}の区間について冠水箇所が多く被害が大きくなった」と答弁。

SIDE-B

アジサイ便りを読んでのご感想や、委員会など議会で取上げて欲しいことなどありましたらお寄せください♪

奥入瀬溪流歩道の復旧に向けた取り組みについて

佐藤宏観光政策課長「20日から歩道の被害状況を確認した上で、土砂の撤去や流木の処理作業などを進め、順次歩道の通行を再開してきた。具体的には先月23日正午には、下流側の惣辺石ヶ戸休憩所までの約2キロ区間をその後、25日午前10時には中流部分の石ヶ戸休憩所から雲井の滝までの約3キロの区間の通行を再開した。被害が大きかった雲井の滝から子ノ口までの6^{キロ}については利用者が散策できるよう歩道部分の応急工事を優先的に先行い、先週から通行を再開した。引き続き歩道部分以外の土砂の撤去など進める」と答弁。



奥入瀬溪流災害現場調査

土砂に覆われた河川の立ち入りを禁止し植生守れ

佐藤宏観光政策課長「歩道以外の場所については所管しておらず、環境省に問い合わせたところ基本そのまま放置しておくとのこと」としました。自然保護団体の方からそのままにし、踏み固めなければ数年で植生が戻るの、立ち入り禁止を徹底するように要望が出されていると訴えました。

中小企業の価格転嫁促進に向けた支援について質す

消費者や発注者にとっては価格が上がることは苦しいが、一方で事業者にとっては最低賃金引き上げなどの環境変化で経営を維持するための価格転嫁は一定必要だという立場で質問しました。

田澤俊吾地域企業支援課長は「中小企業と適切な価格変化を促進するため、今年度から21青森産業支援センターに価格転嫁支援アドバイザーを2名配置し、相談に応じる取り組みをしている。価格転嫁に課題を抱える中小企業者を対象に9月末から価格転嫁の実践塾を開催する」と答弁。安藤は、これらの取組と並行して直接的な経済的支援制度の確立も要望しました。

この他

●観光ボランティアガイドを活用した観光振興について

●地域公共交通人材確保推進事業について

●青い森鉄道株式会社の経営状況について
も質問しました。



戦争反対! アピール行動



県内調査(むつ市川内町体験館ジオパーク事業の地域おこし協力隊の3人と)



酒米調査「松緑」社長と

はるみ事務所の風

うちの子ども達が通った明の星幼稚園の開放DAYに行ってきました。今年度で閉園してしまうので、閉園前を見学会です。

明の星幼稚園にはちょっと有名な「旧菊池氏庭園」があるのです。このお庭は、国登録記念物(名勝地)だそうです。とても立派なお庭です。

さらに別館がありまして、礼拝堂とか懺悔室とかシスター達が生活していた個室とかキッチンとか、古〜いけれども、窓ガラスもちょっとの衝撃で割れてしまいそうに薄いけれども、エモい! 映画っぽい!! ※エモい⇒心に響く特別な感情

何人で生活していたのかな〜20人は住めるな
古いワープロがあったな、いつまで生活していたのかな
地下には洗濯場があるらしい・・・見たかった・・・

それから、明の星幼稚園の階段が滑り台で降りられる仕様になっているので、もちろん子どもたちに混ざってすべり納めしてきました。

葛原 未来



青森りんご植栽150周年記念式典